

平成31年度(令和元年度)

学 校 要 覧



北海道札幌視覚支援学校

Hokkaido Sapporo Special Needs School for the Visually Impaired

(愛称：あいさぽセンター)

〒064-8629

札幌市中央区南14条西12丁目1番1号

電 話 011-561-7107

FAX 011-561-2423

Eメール sapporoshikaku-z0@hokkaido-c.ed.jp

ホームページ <http://www.sapporoshikaku.hokkaido-c.ed.jp>

校章の由来

作 國松 明日香



- 1 空に向かって大きくはばたこうとする鳥の姿は、「意欲的に学び考える人」「心を豊かに伝え合い、思いやりのある人」「健康でたくましく活動する人」という、本校が目指す幼児児童生徒像を表す。
- 2 鳥の体は、視覚障がいの状況に応じた専門的な教育を授ける教育機能を、2枚の翼は、質の高い理療従事者を養成する理療機能と、視覚障がい者への相談やその関係者への研修等を行う支援機能を表す。また、鳥の真上に「北」と「光」を融合させたランドマークを配している。このランドマークを目指す鳥の姿は、視覚障がい教育の中心となる3つの機能(教育・理療・支援)を三位一体とした学校の象徴であるとともに、道内各盲学校をつなぎ、育み、広い世界へ飛翔する意を込めたものである。

北海道札幌視覚支援学校 校歌 心のちから

作詞・作曲 みのや 雅彦
編 曲 高野 真梨子



ほら未来へと

あの大空羽ばたいて ほら未来へと

夢や希望 憧れを 今描いて

あの大空羽ばたいて ほら未来へと

夢や希望 憧れを 今描いて

此処を旅立つ時 きっと負けない 心の力

どんなに吹雪いても 春は必ず来る

この大地を踏みしめて また歩きだそう

愛の歌を 声合わせて さあ歌おう

此処で学ぶ事は 生きる強さ 心の力

北風吹く街は 人が温かくて

1 本校の教育

(1) 基本理念（目指す学校像）

「視覚障がい教育の専門性を発揮し、教育機能、理療機能、支援機能を推進する学校」

(2) 学校教育目標（目指す幼児児童生徒像）

「将来に向かって

- 意欲的に学び、考える人
- 心を豊かに伝え合い、思いやりのある人
- 健康で、たくましく活動する人

を育てます」

(3) 学校経営の基本姿勢

本道における視覚障がい教育の拠点としての役割を果たすため、「教育機能」、「理療機能」、「支援機能」の3つの機能を有機的に発揮できる学校経営に努める。

教育機能	・ 幼稚部から高等部専攻科までの一貫した教育を行う。 ・ 自立活動の指導の充実を図るとともに、学力向上を目指した教科指導を行う。 ・ 社会的・職業的自立と社会参加を目指したキャリア教育や職業教育を行う。 ・ 上記の教育実践を通して培った指導方法に関するノウハウを蓄積し、その成果を盲学校等に対して普及する。
療養機能	・ 専攻科教員や療養従事者を対象として、療養に関する研修を行う。 ・ 療養に関する専門的な調査・研究を行うとともに、研究資料の収集や提供等を行う。 ・ 療養従事者を対象とした臨床技術指導や総合的な相談、定期的な情報提供を行う。 ・ 一般住民に対し、治療や公開講座等を通して、療養に関する理解・啓発を行う。
支援機能	・ 盲学校の教職員を対象に、視覚障がい教育に関する専門的・実践的な研修を行う。 ・ 視覚障がいのある乳幼児への指導や保護者への教育相談を行う。 ・ 小・中学校等の教員に対して、弱視のある児童生徒への指導法に関する助言や教材・教具に関する情報提供等を行う。

(4) 学校教育の基本方針

ア 視覚障がい（盲・低視力）の特性に応じた専門的な教育を推進する。

- ① 幼稚園から高等部専攻科までの一貫した教育のメリットを生かし、幼児児童生徒の障がい等に応じた継続的な教育課程の編成に努める。
- ② 幼児児童生徒一人一人の視覚障がいの状態等に応じた自立活動の指導の充実と学力の向上を目指し、授業研究の改善を図り、教科指導の充実に努める。
- ③ 社会的・職業的自立に必要な能力を育成する系統的なキャリア教育の充実に努める。
- ④ 基本的生活習慣や日常生活動作を身に付けさせる寄宿舎における指導の充実に努める。

イ 理療教育の充実に向けた教育を推進する。

- ① 専攻科に在籍する生徒に対する教科指導や実技指導を行うなど、理療教育の充実に努める。
- ② 専門的な調査・研究の成果を専攻科の教科指導や実技指導に反映し、臨床技術や指導技術の向上に努める。

ウ 視覚障がい教育の専門性を生かした支援を推進する。

- ① 一貫教育の実践のもとに培った視覚障がい教育の専門性を生かした教育相談体制を整備し、教育的な支援の充実に努める。
- ② 教育実践を通して培った視覚障がい教育のノウハウを蓄積し、盲学校等へ専門的な教育を普及するなど支援の充実に努める。

(5) 学校経営の基本方針

ア 教育機能、理療機能、支援機能が効率良く展開できる学校経営を推進する。

- ① 医療や教育、保健、福祉、労働などの各関係機関や地域、保護者との日常的な連携に努める。
- ② 学校・家庭・寄宿舎の連携、並びに各学部、校務分掌などの校内組織体制の整備に努める。
- イ 視覚障がい教育に関する専門的な教育が充実し、機能するための円滑な学校経営を推進する。
 - ① 教科指導の充実、及び学力の向上を図るため、各学部間の教員相互が連携した授業を実施するなど、校内指導体制の整備に努める。
 - ② 指導方法や教材・教具の開発を目的とした研究・研修体制の整備に努める。
 - ③ 卒業後における理療師の国家資格取得を目的とした学習指導体制の整備に努める。
- ウ 理療に関する専門的な研修や理解・啓発を促進する学校経営を推進する。
 - ① 理療に関する専門的な知識・技術を習得する研修講座などを実施する体制整備に努める。
 - ② 症例研究などの理療教育に関する専門的な調査・研究を行い、専攻科の課題研究における指導・助言や、臨床技術や指導技術の向上を図るなどの体制整備に努める。
 - ③ 一般住民を対象として、「あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう」による治療や、理療施術・健康に関する公開講座などを開催し、理療に関する理解と啓発を行う体制整備に努める。
- エ 視覚障がい教育に関する研修、教育相談などの支援が機能するための学校経営を推進する。
 - ① 道内盲学校が「地域における特別支援教育のセンター的機能」を十分に発揮するための支援体制の整備に努める。
 - ② 視覚障がいのある乳幼児への指導・支援やその保護者への教育相談体制の整備に努める。
 - ③ 障がいの状態や発達の段階を把握し、保有する感覚を有効活用した環境把握や外部へのかかわり方などに関する指導や支援の充実に努める。

(6) 年度の重点(教育)目標

- ア 視覚障がい教育の専門性の維持・向上・継承を図るとともに、保護者、地域住民を対象とした専門性の理解・啓発（見える化）に努める。
- イ 新学習指導要領の移行措置を適切に実施し、教育課程の改善・充実を図る。
- ウ ICT等を活用し、学びの環境を整備するとともに、幼児児童生徒の教育活動や本校の取り組み等に関する情報等を積極的に発信する。

(7) 教育(指導)の重点

- ア 幼児児童生徒及び保護者の願いやニーズを把握するとともに、的確な実態把握を行い、適切な指導計画の作成(教育支援計画)を作成する。
- イ 合理的配慮に基づいたわかりやすい授業の実践及び教材・教具や掲示物、ICT等の活用を図り、学びの環境を改善する。
- ウ 学力テスト等を活用し、基礎的・基本的な学力の客観的な評価を行うとともに、児童生徒の良い点や可能性、進歩の状況などを評価の観点として積極的に加えるなどして学習状況を評価する。
- エ 自立活動の指導を計画的に行い、基本的生活習慣や身辺処理技術の向上と定着を図るため、学校、寄宿舎及び保護者との一層の連携を図る。
- オ 授業や行事、国際交流など様々な交流及び共同学習を通して、豊かな言語活動、気持ちを伝えるコミュニケーション能力を高める対話的で深い学びを実践する。
- カ 関係機関と連携し就労支援体制を整備し、職業体験学習やインターンシップ、現場実習を効果的に行うとともに、保護者理解と教育課程への位置付けを明確にしたキャリア教育の視点を踏まえた進路指導を進める。
- キ 地域住民とのふれあいや地域資源、外部人材を活用した体験的な学習活動を計画的、効果的に実施する。

(8) 経営の重点

- ア 「教育機能」、「理療機能」、「支援機能」の一層の充実を図るとともに、それぞれの機能に関する情報を積極的に発信する。

- イ 視覚障がい教育の専門性の向上を図る研修、研究活動を推進し、教育職員すべてが点字・歩行・ロービジョンに関する知識・技能を身に付けるとともに、外部の方に分かりやすい専門性の示し方を工夫する。
- ウ 教育公務員としての自覚と責任を持ち、幼児児童生徒の人材を尊重し、言葉の暴力、体罰、虐待の防止に努め、信頼の得られるように職務を遂行する。
- エ 事故、災害等を想定した予防教育を実施するとともに、危機管理意識を高める。
- オ 幼児児童生徒が伸び伸びと活動でき、かつ視覚障がい教育の場として適切で安全・安心な学校環境を整える。
- カ 地域住民を対象とした公開講座の開催や理療に関する広報誌を作成・配布し、理療に関する理解・啓発を進める。
- キ 道内の小・中学校や高等学校等並びに地域社会に対して、視覚障がい教育に関する情報提供を積極的に行い、理解・啓発に努めるなど、センター的機能を発揮する。

(9) 学部・学科の教育目標

ア 幼稚部

一人一人の実態に合わせて人間性豊かな幼児の育成を目指し、次のような幼児を育てる。

- 「よく聴いて、よく触って、よく見る子ども」
- 「なかよく遊ぶ子ども」
- 「自分で身体を動かす元気な子ども」

イ 小学部

「自分でできることは、進んで行動する」など、視覚の障がい等に基づく困難を改善・克服し、実践的で人間性豊かな児童の育成を目指し、次のような児童を育てる。

- 「よく確かめ、よく考える子ども」
- 「気持ちを伝え、助け合う子ども」
- 「進んで運動する子ども」

ウ 中学部

自ら考え、行動できるよう、障がいによる学習上または生活上の困難を改善・克服し、心豊かで生きる力を持つ次のような生徒を育てる。

- 自ら学び、努力する生徒
- 心を伝え、認め合う生徒
- 身体を鍛え、活動する生徒

エ 高等部普通科

障がいによる困難を主体的に改善し、責任ある社会人として必要な知識・技能とたくましく生きる力を持つ次のような生徒を育てる。

- 将来を見据え、自ら学び、考え、表現できる生徒
- 自他を尊重できる生徒
- 健康と安全を管理し、心身を鍛えることができる生徒

オ 高等部専攻科

障がいに基づく困難の改善に前向きに取り組み、あん摩・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師としての社会的使命と責任を果たすことができる次のような生徒を育成する。

- 国家試験合格に向けて主体的に学習に取り組む生徒
- 確かな知識と技術に基づき安全かつ的確な治療ができる生徒
- 他人を思いやりより良い人間関係を築くことができる生徒
- 心身の健康を意識し自己管理ができる生徒

2 教育課程

(1) 幼稚部

	3歳	4歳	5歳
総合的な指導の時間数(健康、人間関係、環境、言葉、表現)	8 1 2	8 1 2	8 1 2
自立活動の内容に重点を置いた指導の時間数	0	4 0	7 8
計	8 1 2	8 5 2	8 9 0

(2) 小学部

ア 普通学級

		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科	国語	2 7 9	2 8 8	2 3 8	2 3 8		1 7 5
	社会			7 0	9 0		1 0 5
	算数	1 2 4	1 6 3	1 7 0	1 7 0		1 7 5
	理科			8 7	1 0 2		1 0 5
	生活	9 3	9 6				
	音楽	6 2	6 4	6 0	6 0		5 0
	図画工作	6 2	6 4	6 0	6 0		5 0
	家庭						5 5
特別の教科	道徳	9 3	9 6	1 0 3	1 0 3		9 0
	外国語活動	3 3	3 4	3 5	3 5		3 5
総合的な学習の時間				3 5	3 5		3 5
特別活動	学級活動	3 4	3 5	3 5	3 5		3 5
	児童会活動						
	クラブ活動						(1 7)
	学校行事	(6 9)	(6 9)	(6 9)	(6 9)		(7 5)
自立活動		7 0	7 0	5 2	5 2		3 5
計		8 5 0	9 1 0	9 8 0	1 0 1 5		1 0 1 5

イ 重複障がい学級

		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科	国語				2 4 5		1 7 5
	算数				1 7 5		1 7 5
	音楽				5 2		7 0
	図工				5 2		5 2
	生活				2 1 0		1 6 7
	体育				1 0 5		1 0 5
特別の教科 道徳					3 5		3 5
外国語活動					3 5		3 5
総合的な学習の時間							
特別活動	学級活動				3 5		3 5
	クラブ活動						
	児童会活動						(1 7)
	学校行事				(6 9)		(7 5)
自立活動					7 1		1 6 6
計					1 0 1 5		1 0 1 5

ウ イのうち各教科等を合わせて指導を行う学級

		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科等を合わせた指導	遊びの指導						
	日常生活の指導		1 9 3		2 4 5		
	生活単元学習		1 7 5		1 7 5		
教科別の指導	音楽		7 0		7 0		
	体育		1 7 5		1 7 5		
領域別の指導	特別活動						
	自立活動		2 9 7		3 5 0		
総合的な学習の時間							
計			9 1 0		1 0 1 5		

(3) 中学部
ア 普通学級

			第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
各 教 科	必修 教科	国　　語	1 4 0	1 4 0	1 0 5
		社　　会	1 0 5	1 0 5	1 4 0
		数　　学	1 4 0	1 0 5	1 4 0
		理　　科	1 0 5	1 4 0	1 4 0
		音　　楽	4 5	3 5	3 5
		美　　術	4 5	3 5	3 5
		保健体育	1 0 5	1 0 5	1 0 5
		技術・家庭	7 0	7 0	3 5
		外国語(英語)	1 4 0	1 4 0	1 4 0
特別の教科　道徳			3 5	3 5	3 5
総合的な学習の時間			5 0	7 0	7 0
特別 活動	学級活動		3 5	3 5	3 5
	生徒会活動		(3 5)	(3 5)	(3 5)
	学校行事		(5 4)	(6 0)	(6 6)
自　立　活　動			3 5	3 5	3 5
計			1 0 5 0	1 0 5 0	1 0 5 0

イ 重複障がい学級

		第1学年	第2学年	第3学年
各教科	国語		105	105
	社会		140	140
	数学		140	140
	理科		140	140
	音楽		35	35
	美術		35	35
	保健体育		105	105
	技術・家庭		35	35
	外国語		140	140
特別の教科 道徳			35	35
総合的な学習の時間			35	35
特別活動	学級活動		35	35
	生徒会活動			
	学校行事		(60)	(66)
自立活動			35	35
計			1050	1050

ウ イのうち各教科等を合わせて指導を行う学級

		第1学年	第2学年	第3学年	
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導		490	525	490
	生活単元学習		175	175	175
	作業学習				
教科別の指導	音楽		105	105	105
	保健体育			105	
領域別の指導	自立活動		280	140	280
総合的な学習の時間					
計			1050	1050	1050

(4) 高等部普通科普通学級

区分	各教科・科目		単位数	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
普通科	国語	国語総合	4	4		
		現代文 B	5		3	2
		古典 A	2～4		2	(2)
		国語表現	(2)			(2)
	地理 歴史	地理 B	4	2	2	
		世界史 A	2		2	
		日本史 A	2			2
	公民	現代社会	2	2		
		政治・経済	2			2
	数学	数学Ⅰ	3～7	3	(2)	<2>
		数学Ⅱ	2～4		(2)	[2]
		数学 A	2～4		2	<2>
		数学 B	[2]			[2]
	理科	化学基礎	3			3
		生物基礎	3		3	
		科学と人間生活	4	4		
	保健体育	体育	9	3	3	3
		保健	2	1	1	
	芸術	音楽Ⅰ	2	2		
		音楽Ⅱ	【2】			【2】
		美術Ⅰ	2		2	
		美術Ⅱ	【2】			【2】
	外国語	コミ英語Ⅰ	4	4		
		コミ英語Ⅱ	4		2	2
		英語表現Ⅰ	4		2	2
		英語会話	【2】			【2】
	家庭	家庭総合	4	2	2	
		調理	【2】			【2】
	情報	社会と情報	2			2
	教科・科目小計		83	27	28	28
特別活動		ホームルーム活動	3	1	1	1
自立活動			4	2	1	1
総合的な学習の時間			3	1	1	1
小計			10	4	3	3
合計			93	31	31	31

※〈 〉は基礎、[]は標準、()は教科内選択の単位数を表す。

※3年次の4単位分の選択教科、科目は各2単位の【 】の中から2つを選択する。

ただし音楽Ⅱと美術Ⅱの同時選択は認めない。

(5) 高等部普通科重複障がい学級

※数字は標準単位時間

課程			I 型	Ⅱ型	Ⅲ型	
指導の形態			時間	時間	時間	
領域・教科を 合わせた指導	日常生活の指導		1 7 5			
	生活単元学習			1 0 5	1 0 5	
	作業学習			1 4 0	2 1 0	
	体力づくり		1 7 5	1 7 5	1 7 5	
	小 計		3 5 0	4 2 0	4 9 0	
教科別領域別の指導	教科別の指導	国 語			7 0	
		社 会				
		数 学			7 0	
		理 科				
		音 楽		7 0	7 0	
		美 術			3 5	
		体 育			7 0	
		職 業				
		家 庭			3 5	
		英 語				
	小 計		7 0	3 5 0		
	領域別の指導	道 徳	3 5	3 5	3 5	
		自立活動	6 3 0	4 9 0	1 4 0	
		ホームルーム活動	3 5	3 5	3 5	
		小 計	7 0 0	5 6 0	2 1 0	
	総合的な学習の時間			3 5	3 5	3 5
	合 計			1 0 8 5	1 0 8 5	1 0 8 5

(6) 高等部専攻科理療科（平成 29 年度以前の入学者）

区分	科 目 等		履修単位数	学 年		
				第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
基礎分野	国語演習	国語演習	1	1		
	社会科学概論	社会科学概論	1		1	
	人間関係学	人間関係学	1			1
	保健体育	保健体育	3	1	1	1
	基礎分野 小計		6	2	2	2
専門基礎分野	医療と社会	理療概論	1	1		
		関係法規	1			1
	人体の構造と機能	解剖学	7	6		1
		生理学	5	5		
	疾病の成り立ちと予防	衛生学・公衆衛生学	2	2		
		病理学	2		2	
	生活と疾病	臨床医学総論	2		2	
		臨床医学各論	5		5	
		リハビリテーション医学	2			2
	専門基礎分野 小計		27	14	9	4
専門分野	基礎理療学	東洋医学概論	3		3	
		経絡経穴概論	4	3	1	
		理療理論	3			3
	臨床理療学	理療臨床論	6		2	4
		理療応用論	6		6	
		臨床診察学	4		4	
	地域理療と理療経営	理療社会学	2			2
	理療基礎実習	理療基礎実習	11	11		
	理療臨床実習	理療臨床実習	15		3	12
	総合領域	理療情報活用	1			1
		課題研究	2			2
	専門分野 小計		57	14	19	24
合 計			90	30	30	30

(7) 高等部専攻科理療科（平成 30 年度以降の入学者）

区分	科 目 等		履修単位数	学 年		
				第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
基礎分野	キャリアデザイン	キャリアデザイン	1	1		
	東洋思想	東洋思想	1		1	
	人間関係学	人間関係学	2			2
	英語	英語	1			1
	保健体育	保健体育	3	1	1	1
	基礎分野 小計		8	2	2	4
専門基礎分野	医療と社会	理療概論	2	1		1
	人体の構造と機能	解剖学	6	6		
		生理学	5	5		
	疾病の成り立ちと予防	衛生学・公衆衛生学	2	2		
		病理学	2		2	
	生活と疾病	臨床医学総論	2		2	
		臨床医学各論	5		5	
		リハビリテーション医学	2			2
	専門基礎分野 小計		26	14	9	3
専門分野	基礎理療学	東洋医学概論	3		3	
		経絡経穴概論	3	3		
		理療理論	3			3
	臨床理療学	理療臨床論	6		2	4
		理療応用論	3		3	
		臨床診察学	2		2	
	地域理療と理療経営	社会理療学	1			1
	理療基礎実習	理療基礎実習	17	11	6	
	理療臨床実習	理療臨床実習	11		3	8
	総合領域	理療情報活用	1			1
		課題研究	2			2
	総合領域	総合理療学	4			4
	専門分野 小計		56	14	19	23
合 計			90	30	30	30

(8) 高等部専攻科保健理療科（平成 29 年度以前の入学者）

区分	科 目 等		履修単位数	学 年		
				第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
基礎分野	国語演習	国語演習	2	1	1	
	人間関係学	人間関係学	1			1
	保健体育	保健体育	3	1	1	1
	基礎分野 小計		6	2	2	2
専門基礎分野	医療と社会	保健理療概論	1	1		
		関係法規	1			1
	人体の構造と機能	解剖	7	7		
		体表解剖	1	1		
		生理	6	6		
	疾病の成り立ちと予防	衛生・公衆衛生	3	3		
		病理	3		3	
	生活と疾病	臨床医学	1 0		6	4
		リハビリテーション医学	3			3
	専門基礎分野 小計		3 5	1 8	9	8
専門分野	基礎保健理療	東洋医学一般	4		4	
		保健理療理論	2		2	
	臨床保健理療	保健理療臨床論	5		3	2
		保健理療応用論	4		4	
	地域保健理療と保健理療経営	保健理療社会学	2			2
	保健理療基礎実習	保健理療基礎実習	1 0	1 0		
	保健理療臨床実習	保健理療臨床実習	1 2		4	8
	総合領域	総合あん摩マッサージ指圧学	6			6
		保健理療情報活用	2			2
		課題研究	2		2	
専門分野 小計		4 9	1 0	1 9	2 0	
合 計		9 0	3 0	3 0	3 0	

(9) 高等部専攻科保健理療科（平成 30 年度以降の入学者）

区分	科 目 等		履修単位数	学 年		
				第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
基礎分野	国語演習	国語演習	2	1	1	
	キャリアデザイン	キャリアデザイン	1	1		
	人間関係学	人間関係学	2			2
	保健体育	保健体育	3	1	1	1
	基礎分野 小計		8	3	2	3
専門基礎分野	医療と社会	保健理療概論	2	1		1
	人体の構造と機能	解剖	7	6		1
		体表解剖	1	1		
		生理	6	6		
	疾病の成り立ちと予防	衛生・公衆衛生	3	3		
		病理	3		3	
	生活と疾病	臨床医学	1 0		6	4
		リハビリテーション医学	3			3
	専門基礎分野 小計		3 5	1 7	9	9
専門分野	基礎保健理療	東洋医学一般	4		4	
		保健理療理論	2		2	
	臨床保健理療	保健理療臨床論	6		3	3
		保健理療応用論	4		4	
	地域保健理療と保健理療経営	社会保健理療学	1			1
	保健理療基礎実習	保健理療基礎実習	1 2	1 0	2	
	保健理療臨床実習	保健理療臨床実習	1 0		2	8
	総合領域	保健理療情報活用	2			2
		課題研究	2		2	
		総合保健理療学	4			4
専門分野 小計		4 7	1 0	1 9	1 8	
合 計		9 0	3 0	3 0	3 0	

(10) 日課表

幼稚園		小学部		中学部・高等部	
	登校		登校		登校
9:00	朝の運動	8:40	SHR	8:40	SHR
9:45		8:50	1校時	8:50	1校時
9:45	朝の会	9:35		9:40	
10:45		9:45	2校時	9:45	2校時
10:45	設定遊び	10:30		10:35	
11:50		10:45	3校時	10:45	3校時
11:50	給食	11:30		11:35	
13:00		11:40	4校時	11:40	4校時
13:00	帰りの会・下校	12:25		12:30	
13:10		12:25	給食・休憩	12:30	給食・休憩
13:25	個別の自立活動	13:20		13:15	
13:50	(4・5歳児)	14:05	5校時	13:15	5校時
13:55	下校	14:15		14:05	
		15:00	6校時	14:10	6校時
		15:00	SHR・清掃・下校	15:00	SHR・清掃・下校
		15:25		15:25	
			特別活動		特別活動
		16:50		17:50	

(11) 年間授業日数

幼小中	高普専		授業日数	主な学校行事等
1 学期	前期	4 月	1 5	入学式 前期・1学期始業式 着任式 新入生オリエンテーション 身体測定 生徒会・藻朋会入会式 避難訓練 参観日・全校授業公開日
		5 月	1 9	開校記念日 宿泊研修(普1) 見学旅行(中3、普2) 解剖見学実習(専3) 児童生徒会総会(小中) 藻朋会総会(専) インターンシップ(普3-1)
		6 月	2 0	生徒会総会(普) 運動会(幼小) 校外臨床実習(専3) 社会見学(中1) 宿泊研修(中2) 全校遠足 前期中間考査(中普専)
		7 月	1 8	校外学習(普2・3組) 私の主張・生活体験発表会(中) たなばた会(幼) 藻朋会交流活動(専) 盲学校弁論大会 見学旅行(小6) 社会見学(小) 夏まつり(幼) 1学期終業式(幼小中)
2 学期		8 月	9	2学期始業式(幼小中) 全校授業公開日 現場実習(普2・3組) 実力テスト(専3)
		9 月	1 9	ピクニック(幼) 文体連(小中) 前期期末考査(中普専) 現場実習(普2・3組) 社会見学(普1-1 2-1) 校外臨床実習(専3) 前期終業式(普専)
	後期	10月	2 1	後期始業式(普専) 職場体験学習(中) 参観日・全校授業公開日 校外臨床実習(専3) 学校祭
		11月	2 0	やきいも会(幼) 専攻科入学体験会 第1回国試模試(専3) 生徒会役員選挙(普) 藻朋会役員選挙(専) 音楽交流会(中)
		12月	1 5	後期中間考査(中) 後期中間考査・学年末考査(普専) E C C(中) 普通科交流(普) 児童生徒会総会・選挙(小中) クリスマス会(幼) 2学期終業式(幼小中)
3 学期		1 月	1 3	3学期始業式(幼小中) 第2回国試模試(専3) もちつき会(幼) 体験入学(中) 冬の遠 足(幼小)
		2 月	1 8	豆まき会(幼) 体験入学(幼小) 学年末考査(中普専) あん摩マッサージ指圧師、はり 師、きゅう師国家試験(専3) 藻朋会定例総会・予餞会(専)
		3 月	1 6	卒業・修了式(普専) お別れ会(幼中) 送る会(小) 修了・卒業式(幼小中) 修了式・後期 終業式
合 計			2 0 3*	

*高等部202日、幼稚園修了・小・中学部卒業学年197日、高等部普通科卒業学年187日、専攻科修了学年186日

3 幼児・児童・生徒の状況

(1) 在籍生徒数

(R1.5.1現在)

		学級数	男	女	計	寄宿舎生		通学生		使用文字		
						男	女	男	女	普通字	点字	口述
幼稚部	3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4・5歳	1	3	1	4	0	0	3	1	3	1	0
	計	1	3	1	4	0	0	3	1	3	1	0
小学部 普通学級	1年	1	1	2	3	0	0	1	2	1	2	0
	2年	1	4	0	4	1	0	3	0	4	0	0
	3年	1	2	1	3	1	1	1	0	1	2	0
	4・6年	1	1	2	3	1	2	0	0	2	1	0
	計	4	8	5	13	3	3	5	2	8	5	0
小学部 重複学級	2・4・6年	2	2	2	4	1	0	1	2	2	2	0
	計	2	2	2	4	1	0	1	2	2	2	0
小学部 計		6	10	7	17	4	3	6	4	10	7	0
中学部 普通学級	1・2年	1	3	1	4	2	1	1	0	3	1	0
	3年	1	3	3	6	2	2	1	1	3	3	0
	計	2	6	4	10	4	3	2	1	6	4	0
中学部 重複学級	2・3年	2	4	1	5	2	1	2	0	0	2	3
	計	2	4	1	5	2	1	2	0	0	2	3
中学部 計		4	10	5	15	6	4	4	1	6	6	3
高等部 普通科 普通学級	1年	1	2	2	4	2	2	0	0	1	3	0
	2年	1	4	3	7	4	3	0	0	7	0	0
	3年	1	3	1	4	3	1	0	0	3	1	0
	計	3	9	6	15	9	6	0	0	11	4	0
高等部 普通科 重複学級	1年	1	2	1	3	2	1	0	0	2	1	0
	2年	2	5	1	6	4	1	1	0	5	0	1
	3年	2	3	2	5	3	2	0	0	4	0	1
	計	5	10	4	14	9	4	1	0	11	1	2
高等部普通科 計		8	19	10	29	18	10	1	0	22	5	2
高等部 専攻科 理療科	1年	1	4	3	7	3	2	1	1	6	1	0
	2年	1	1	2	3	0	1	1	1	3	0	0
	3年	1	2	2	4	0	0	2	2	3	1	0
	計	3	7	7	14	3	3	4	4	12	2	0
高等部 専攻科 保健理療科	1年	1	6	1	7	4	1	2	0	4	2	1
	2年	1	3	2	5	2	2	1	0	3	1	1
	3年	1	3	1	4	3	1	0	0	3	0	1
	計	3	12	4	16	9	4	3	0	10	3	3
高等部専攻科 計		6	19	11	30	12	7	7	4	22	5	3
合 計		25	61	34	95	40	24	21	10	63	24	8

(2) 視力の状況

(R1.5.1現在)

		0	明暗弁	手動弁・ 指数弁	0.01～ 0.02未満	0.02～ 0.04未満	0.04～ 0.1未満	0.1～ 0.3未満	0.3以上	測定 困難
幼稚部	3歳									
	4歳			1					2	
	5歳								1	
小学部	1年		2				1			
	2年		1				1	2	1	
	3年	1	1					1		
	4年		1					2	1	
	5年									
	6年		1			1				
中学部	1年		1						1	
	2年	1	1					2		
	3年	2	1			1	2	1	1	1
高等部 普通科	1年	3				1		2	1	
	2年	1				1	3	5	3	
	3年	2					1	6		
高等部 専攻科 理療科	1年	1				1	1	3	1	
	2年						2		1	
	3年		1				1	2		
高等部 専攻科 保健理療科	1年	2	1			1		3		
	2年	1		1		1	1	1		
	3年				1		2	1		
合 計		14	11	2	1	7	15	31	13	1

(3) 視覚障がいの原因

(R1. 5. 1 現在)

		先天要因	伝染性疾患	外傷	腫瘍	未熟児網膜症	ペーチェット病	糖尿病	その他	不明
幼稚園部	3歳									
	4歳	1			2					
	5歳					1				
小学部	1年				2					1
	2年	3				1				1
	3年	1			1					1
	4年	3								1
	5年									
	6年	1							1	
中学部	1年	1			1					
	2年	1			1	1				1
	3年	5		1		1			2	
高等部普通科	1年	2			1	4				
	2年	7			3	3				
	3年	5	1			3				
高等部専攻科理療科	1年	4			1			1	1	
	2年	3								
	3年	2							1	1
高等部専攻科保健理療科	1年	3			1	3				
	2年	3		1		1				
	3年	3				1				
合 計		48	1	2	13	19	0	1	5	6

※視力以外の眼疾・視機能障がいを含む。

(4) 保護者の居住地

(R1. 5. 1 現在)

	石 狩			空 知	後 志	胆 振	日 高	渡 島	檜 山	上 川	留 萌	宗 谷	標 本	十 勝	釧 路	根 室
	札幌	江別	ほか													
幼稚園部	2	1	1													
小学部	13	2	2													
中学部	9	1	2		1	2										
高等部普通科	9	2	1	1	1	1	1	1	1	6				3	2	
高等部専攻科	15	1	2	1		1	1			5				2	2	
合 計	48	7	8	2	2	4	2	1	1	11				5	4	

4 高等部卒業生・修了生の進路状況

(R1. 5. 1 現在)

区分	進路先	科別 年別	普 通 科					専攻科理療科					専攻科保健理療科					合計
			26	27	28	29	30	26	27	28	29	30	26	27	28	29	30	
進 学	4年制大学・短期大学 理療科教員養成施設	男																0
		女	1															1
	専攻科保健理療科	男	1	1	2	1	3											8
		女	2	1		1												4
	専攻科理療科	男	1													1		2
		女		1			1									1		3
	他盲学校専攻科 理学療法科	男																0
		女																0
	他盲学校研修課程	男																0
		女																0
	各種専門学校	男																0
		女																0
就 職	開 業	男																0
		女																0
	治 療 院	男						8	3	4	2	3	2			2	1	25
		女						3			2					1	2	8
	病 院	男																0
		女																0
	一般職種	男					1											1
		女																0
	介護老人保健施設、 ヘルスキーパー等	男								1	2							3
		女							1	2		1						4
	福祉的就労等	男	2	4	2	2	2											12
		女	2	3		5	2						1					13
	その他	男							1									1
		女													1			1
合 計		男	4	5	4	3	6	8	4	5	4	3	2	0		3	1	52
		女	5	5	0	6	3	3	1	2	2	1	0	1	1	2	2	34

※平成26年度までは旧北海道高等盲学校の進路状況である。

5 教職員数(期限付き職員、非常勤職員、長期研修派遣職員及び休職者を含む) (R1. 5. 1 現在)

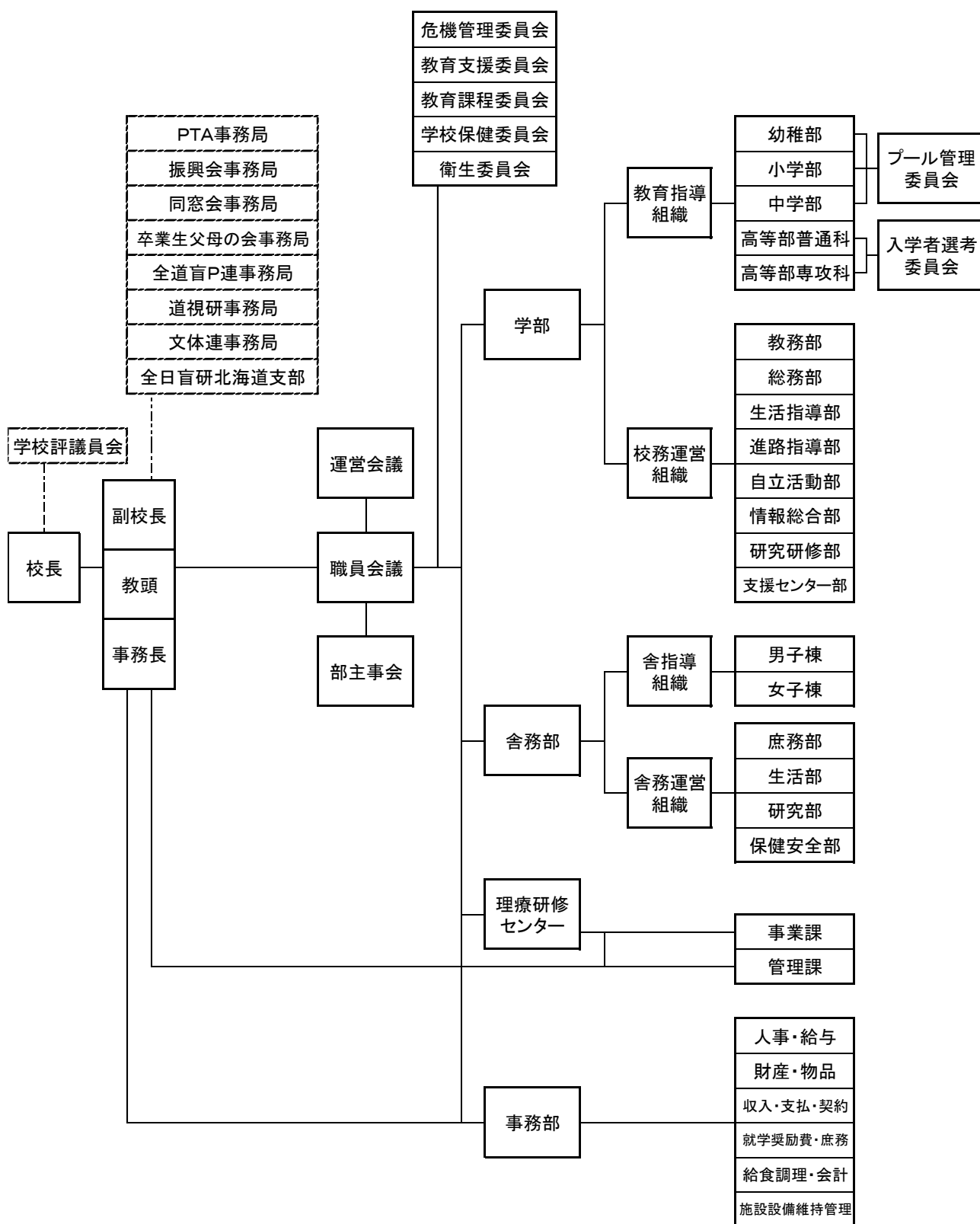
校 長	1	実習担任教諭	2	事務職員	1	非常勤	産 業 医	1
副 校 長	1	指導実習助手	5	介 護 員	1		学 校 医	5
教 頭	2	実習助手	3	非常勤看護師	1		歯 科 医	1
事 務 長	1	専門寄宿舍指導員	13	専門支援員	2		薬 剤 師	1
主幹教諭	1	寄宿舍指導員	8	環境整備員	1		嘱 託 医 (センター)	1
教 諭	73	事務主任	1	臨時事務職員	1			
養護教諭	2	専門主任主事	1	合 計 135名				
栄養教諭	1	主任主事	4					

6 教職員一覧

職 名	氏 名	学担・所属	教 科 担 当	分 掌 部
校 長	木村 浩紀	附属理療研修センター所長兼務		
副 校 長	野戸谷 睦	防火管理者		
教 頭	森田 浩司			
〃	井上 敬	附属理療研修センター副所長・事業課長兼務		
事 務 長	村瀬 公夫	附属理療研修センター管理課長兼務		
主 幹 教 諭	三上友佳子			
教 諭	森 千亜子	幼 パ ン ダ		教 務 部
〃 再任用	西田 正信	幼 稚 部		寮 務 主 任
教 諭	佐藤 暢洋	小 1 組		研 究 研 修 部
〃	松本 昌明	小 学 部		総 務 部
〃	青山 陽子	小 5 組		総 務 部
〃	藤代亜矢子	小 学 部		教務部・小教務主任
〃	深町 雪絵	小 6 組		自 立 活 動 部
〃	小刀禰美穂子	小 3 組		生 活 指 導 部
〃	中村 和史	小 2 組		支 援 セ ン タ ー 部
〃	高橋 里奈	小 学 部		支 援 セ ン タ ー 部
〃	横田 貴紀	小 学 部		研 究 研 修 部
〃 期付	松井絵里奈	小 4 組		総 務 部
〃 期付	沓澤美香沙	小 学 部		生 活 指 導 部
〃 再任用	茂垣 之弘	小 学 部		教務部・小学部主事
〃 育休	小野寺紋子	小 学 部		
非常勤看護師	稲辺 留美	小 学 部		
教 諭	出井 博之	中 学 部	国 語	自 立 活 動 部・中学部主事
〃	高橋 佳子	中 2 組	社 会	中 進 路 指 導 主 事
〃	鷺津 裕美	中 学 部	保 健 体 育	自 立 活 動 部 長
〃	大橋かおり	中 学 部	英 語	中 生 徒 指 導 主 事
〃	上西 結香	中 1 組	国 語	研 究 研 修 部
〃	山田 剛弥	中 学 部	美 術	支 援 セ ン タ ー 部
〃	宮崎 結良	中 学 部	数 学	情 報 総 合 部
〃	森木健太郎	中 4 組	保 健 体 育	総 務 部
〃 期付	北口 忍	中 3 組	理 科	教 務 部
〃 再任用	北御門孝志	中 学 部	数 学	教務部・中教務主任
〃 育休	水沼 直美	中 学 部		
専門支援員	八木めぐみ	中 学 部		
専門支援員	泉亭千寿子	中 学 部		
教 諭	檜森 誠一	普 2 - 1 副	理 科・情 報	情 報 総 合 部 長
〃	小松 徹	普 1 - 1 副	数 学	総 務 部
〃	大貫 悟	普 通 科	国 語	普 通 科 主 事
〃	杉本 英悟	普 1 - 2	社 会・情 報	情 報 総 合 部
〃	安東 敏	普 3 - 2 副	社 会 舍	監
〃	桶谷 茂樹	普 通 科	社 会	総 務 部 長
〃	山本 正路	普 通 科	美 術	教務部長・高教務主任
〃	古御堂敦子	普 3 - 1 副	家 庭	進 路 指 導 部
〃	工藤 訓子	普 3 - 3 副	音 楽	教務部・重複教科主任
〃	小栗 庸子	普 2 - 2	美 術	進 路 指 導 部
〃	千明 和紀	普 2 - 3 副	英 語	自 立 活 動 部
〃	高橋さおり	普 1 - 1	数 学	教務部・普通教科主任
〃	小玉 聡子	普 3 - 3	英 語	自 立 活 動 部
〃	小松太一郎	普 3 - 1	国 語	情 報 総 合 部
〃	千葉 秀輝	普 通 科	理 科	支 援 セ ン タ ー 部
〃	近藤 亜美	普 通 科	国 語	生 活 指 導 部
〃	橋谷布児乃	普 3 - 2	保 健 体 育	進 路 指 導 部
〃	影山智菜美	普 2 - 1	音 楽	支 援 セ ン タ ー 部
〃 期付	竹達 典子	普 2 - 3	公 民	研 究 研 修 部
〃 期付	松里 絵美	普 1 - 2 副	保 健 体 育	情 報 総 合 部
〃 期付	坂本 将哉	普 2 - 2 副	保 健 体 育	生 活 指 導 部
〃 再任用	亀岡美笑子	普 通 科	数 学	
〃 再任用	吉田 重子	普 通 科	地 歴・英 語	
実習担任教諭	玉川真里子	普 通 科		生 活 指 導 部
指導実習助手	桂 ひとみ	普 通 科		情 報 総 合 部
教 諭	久保田 博	保 理 2 副	理 療	総 務 部
〃	虻川 浩一	理 2 - 1 副	理 療	情 報 総 合 部
〃	東海林昭子	保 理 1	理 療	生 活 指 導 部
〃	吉村 篤	理 3 - 1 副	理 療	研 究 研 修 部

職 名	氏 名	学担・所属	教 科 担 当	分 掌 部
教 諭	吉田 勝豊	理 2 - 1	理 療	自 立 活 動 部
〃	中島 史	専 攻 科	理 療	生 活 指 導 部 長
〃	柴崎 公平	専 攻 科	理 療	進 路 指 導 部 長
〃	舟崎 隆	専 攻 科	理 療	支 援 セ ン タ ー 部 長
〃	中谷 薫	専 攻 科	理 療	専 攻 科 主 事
〃	蛭谷 英樹	理 3 - 1	理 療	自 立 活 動 部
〃	鷺頭 弘康	専 攻 科	理 療	教務部・理療教科主任
〃	紺野 洋二	保 理 1 副	理 療	生 活 指 導 部・保健主事
〃	中西 芳宏	保 理 2	理 療	進 路 指 導 部
〃	杉本 公彦	保 理 3 副	理 療	教 務 部
〃	鳥羽 晶幸	理 1 - 1	理 療	情 報 総 合 部
〃	花尻真由美	保 理 3	理 療	総 務 部
〃	高澤 史	理 1 - 1 副	理 療	支 援 セ ン タ ー 部
〃	古川 直樹	専 攻 科	理 療	研 究 研 修 部 長
実習担任教諭	青山ゆかり	専 攻 科		教 務 部
指導実習助手	小谷 茂子	専 攻 科		総 務 部
〃	高佐 綾子	専 攻 科		支 援 セ ン タ ー 部
実 習 助 手	齋藤美和子	専 攻 科		進 路 指 導 部
〃 再任用	中嶋 泰子	専 攻 科		
養 護 教 諭	森田 恵美			生 活 指 導 部
〃	佐々木弥生			生 活 指 導 部
栄 養 教 諭	門馬 則子			生 活 指 導 部
長期研修派遣	北田 歩			
教 諭	鈴木 敏弘	附属理療研修センター指導員		
〃	古川 美奈	附属理療研修センター指導員		
〃	入江 毅	附属理療研修センター指導員		
〃	羽立 祐人	附属理療研修センター指導員 衛生管理者		
〃	篠澤 正樹	附属理療研修センター指導員		
指導実習助手	日光 美佳	附属理療研修センター指導助手		
〃	月井 雅栄	附属理療研修センター指導助手		
実 習 助 手	松本真梨花	附属理療研修センター指導助手		
専門寄宿舍指導員	渡辺ひろみ	女 子 棟		庶 務 部
〃	居城 正能	男 子 棟		保 健 安 全 部
〃	長多智恵美	女 子 棟		研 究 部
〃	中澤 雄一	男 子 棟 主 任		研 究 部
〃	加藤 利佳	女 子 棟		保 健 安 全 部
〃	林 郁代	男 子 棟		生 活 部
〃	神田 敦士	男 子 棟		研 究 部 長
〃	佐久間昌展	男 子 棟		庶 務 部 長
〃	寺下 圭妃	男 子 棟		庶 務 部
〃	芦澤 伸子	女 子 棟		生 活 部
〃	片山亜紀乃	女 子 棟		研 究 部
〃	白木 良昌	男 子 棟		庶 務 部
寄宿舍指導員	相原 拓志	男 子 棟		生 活 部 長
〃	高島 綾	女 子 棟 主 任		研 究 部
〃	石崎 瑞恵	男 子 棟		保 健 安 全 部 長
〃	宮内 久美	女 子 棟		生 活 部
〃	鈴木えみ子	女 子 棟		保 健 安 全 部
〃	鳴海 舞祐	男 子 棟		庶 務 部
〃 再任用	鈴木 玲司	男 子 棟		生 活 部
〃 再任用	佃 求	男 子 棟		保 健 安 全 部
専門寄宿舍指導員 休	林 芳彦			
事 務 主 任	三崎 聡	人事・財産・支出		
専門主任主事	佐藤 智美	収入・物品		
主 任 主 事	中野 結	収入・就学奨励費		
〃	篠島 勇貴	契約・旅費		
主任主事再任用	堀川 元	給与・共済		
主任主事再任用	土井尻憲宣	給食・学校徴収金		
事 務 職 員	戸川 侑子	契約・旅費・庶務		
臨時事務職員	藤田 孝一	庶務		
介 護 員	高橋 恵子	生徒の介護・諸会費会計		
環 境 整 備 員	羽澤 大地	環境整備		

7 学校運営組織



8 学校沿革

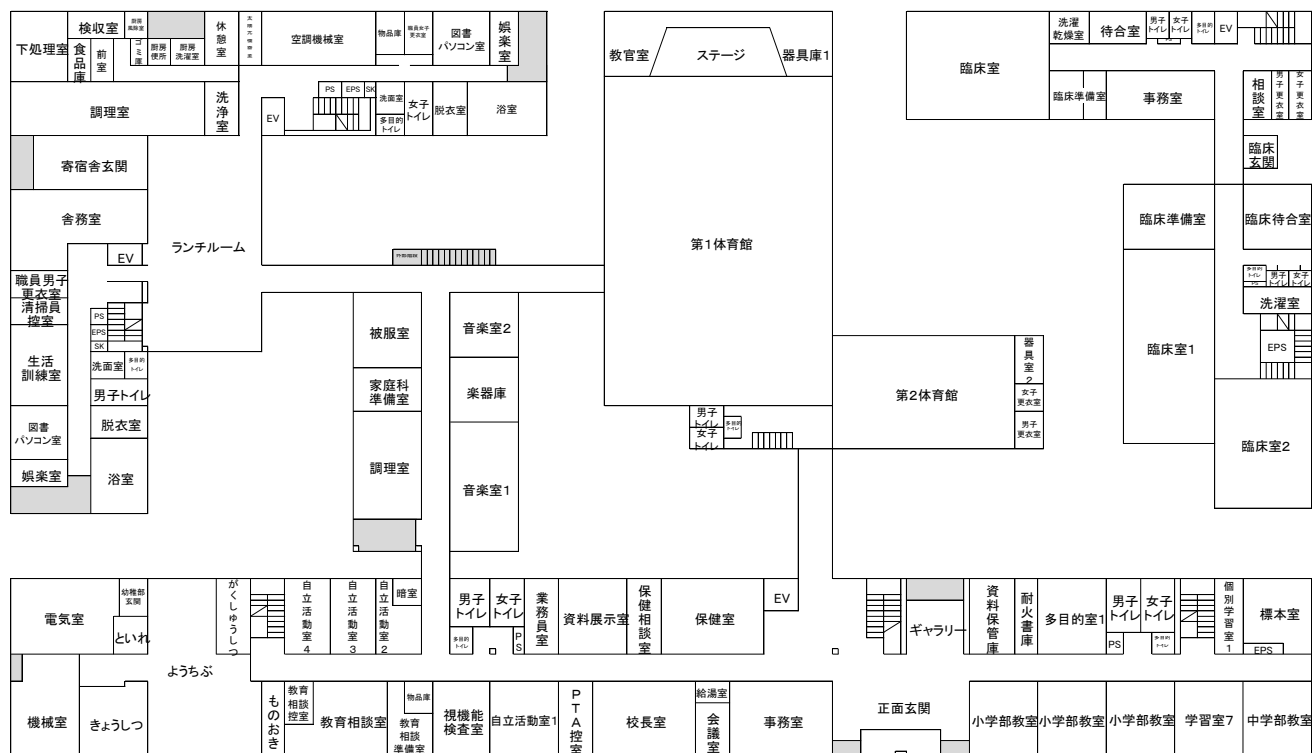
- 平成 23. 7. 8 第 2 回定例北海道議会にて「視覚障がい教育センター校」基本設計に関わる予算措置
平成 25. 7. 30 第 1 期新築工事(校舎・寄宿舎)着工
平成 26. 5. 23 北海道知事高橋はるみ氏工事現場視察
6. 13 第 2 期新築工事(理療研修センター・屋内体育館)着工
10. 14 北海道立学校条例の一部を改正する条例(平成 26 年北海道条例第 102 号)により平成
27 年 4 月 1 日付北海道札幌視覚支援学校設置を決定
11. 10 第 1 期新築工事完成
平成 27. 3. 24 第 2 期新築工事完成
4. 13 第 1 回入学式(4 学部 34 名入学) 27 学級 生徒数 92 名
7. 4 開校式
12. 18 外構工事完成
12. 25 プール完成
平成 28. 3. 1 高等部普通科卒業式・専攻科修了式
3. 18 幼稚部修了式・小学部中学部卒業式
4. 8 第 2 回入学式(4 学部 28 名入学) 27 学級 生徒数 100 名
8. 23 第 31 回全国盲学校野球大会 北海道大会(～25 日 本校主管)
平成 29. 3. 1 高等部普通科卒業式・専攻科修了式
3. 16 幼稚部修了式・小学部中学部卒業式
4. 10 第 3 回入学式(3 学部 26 名入学) 25 学級 生徒数 96 名
10. 28 第 1 回学校祭(～29 日)
11. 16 平成 29 年度北海道視覚障害教育研究会(～17 日 本校主管)
平成 30. 1. 18 第 59 回弱視教育研究全国大会(北海道大会)(～19 日 本校主管)
3. 1 高等部普通科卒業式・専攻科修了式
3. 16 幼稚部修了式・小学部中学部卒業式
4. 9 第 4 回入学式(3 学部 34 名入学) 27 学級 生徒数 97 名
7. 24 平成 30 年度全国都道府県教育委員会連合会学校視察
9. 22 総務大臣野田聖子氏学校訪問
11. 21 平成 30 年度優良 PTA 文部科学大臣表彰
平成 31. 3. 1 高等部普通科卒業式・専攻科修了式
3. 14 幼稚部修了式・小学部中学部卒業式
4. 8 第 5 回入学式(3 学部 22 名入学) 25 学級 生徒数 95 名

9 歴代校長

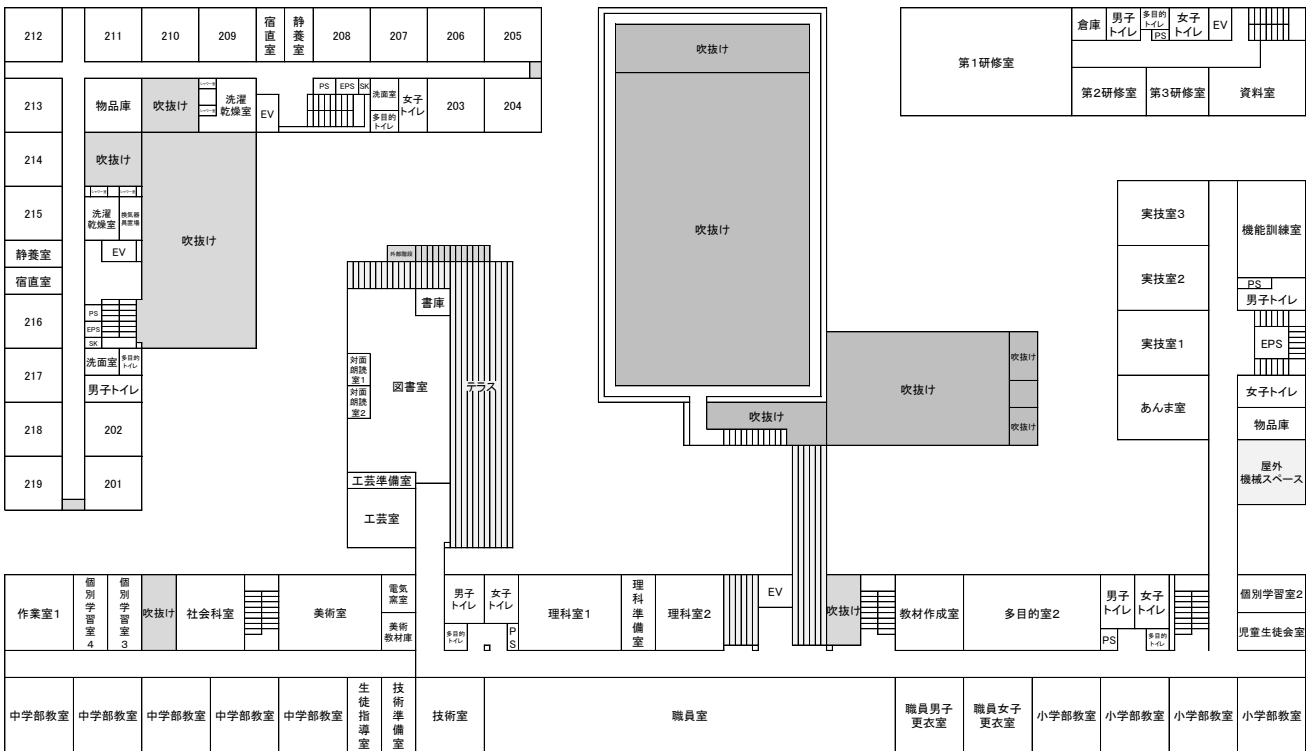
- 初 代 石川 大 平成 27. 4. 1～平成 30. 3. 31
第 2 代 木村 浩紀 平成 30. 4. 1～

10 校舎平面図

1 階



2 階



3 階

320	319	318	317	316	315	314	313	312	311	310
321										
吹抜け										
322	304	305	306	307	洗濯 乾燥室	EV	洗面 室	PS 洗面室	PS 洗面室	PS 洗面室
323					吹抜け				女子 トイレ	308
324										
325										
326										
327										
328										
329										
330										
331										
332										

屋外機械スペース	物品庫	多目的 ホール	EV	資料 作成室
	恒温室	検査室		

[illegible]

11 学校案内図



市電

西線 14 条 下車
東へ徒歩約 7 分 (約 380m)

じょうてつバス

快速 7 快速 8 南 4 南 54 南 55 南 64
南 14 条西 11 丁目下車
西へ徒歩約 5 分



北海道札幌視覚支援学校
イメージキャラクター
「あいりす」

視覚障がい教育の専門機関として

相談や支援を行います

《教育相談》

○「見えない」「見えにくい」ことで困っている方を支援します。

見え方や発達の状況、ご家庭での養育や学習での配慮、見る力や見てわかる力を育てる、あるいは補助具活用のためのトレーニングなどの支援を行っています。

成人の方からの相談もお受けしています。

《教育支援》

○幼稚園や保育所、学校、関連機関からの相談をお受けします。

学習や生活上の配慮、環境整備、指導方法などについての支援、訪問相談、情報提供を行っています。

《視覚障がいについての理解・啓発》

○地域の方々や小中学校からの要望にお応えします。

地域の小中学校の総合的な学習の時間、職員研修などへの講師派遣を行い、視覚障がいについての理解を深めていただいております。

お問い合わせは **TEL 011-561-7107**

北海道札幌視覚支援学校 支援センター一部